

都市整備

市民参加型のグリーンインフラ推進を



貯水機能を持つ「雨庭」

問 身近な場所で実践しやすいグリーンインフラの一つである雨庭の公共空間への整備は、

答 雨庭は、都市型洪水の軽減に一定の効果があるとされている。

市内では、坂戸、鶴ヶ島下水道組合が整備を進める雨水幹線をはじめ、道路側溝や水路で、雨水排水を面的にコントロールしている。

また、公共空間は、規模に応じて調整池を整備するなど、想定される降雨量に対応可能な雨水排水対策を講じている。

さらに、民間の開発事業は面積と地域に応じた指導により、雨水の流出抑制に努めている。

以上のとおり、雨水排水の適切な管理に取り組んでおり、これに加えて公共空間に雨庭を整備する予定はない。



おおの ひろこ
大野 洋子
議員



市政運営

複合施設に期待される効果について



複合施設開設に向けて！

問 複合施設（旧西中学校）に期待される効果について。

答 複合施設（旧西中学校）は、市民の多様な意見を踏まえた複合施設（旧西中学校）基本構想に基づき整備していく。

地域イベントや子育て世代の憩いの場など市民ニーズに応じた機能を整備していく。また、老人福祉センターや障害者生活介護施設、海洋センターの体育館機能など、既存施設の移転集約で利便性と多様性を高める。また、旧校舎の3階や体育館、グラウンドなどで地域住民の様々な活動ができるよう計画もしている。

更に、飲食可能な場を設けることで多世代交流を促進し、地域のつながり強化や孤立防止などの効果が期待できる。



おがわ しげる
小川 茂
議員



市政運営

齊藤市政2期目の総括について



市役所庁舎

問 8年の市政を振り返り、本市の現状とこれからをどのように捉えているか。

答 本格的な人口減少や少子高齢化に直面し、地域コミュニティの希薄化や社会保障費の増大など、様々な課題がある。また、デジタル化や価値観の変化など、社会の転換期でもあり、この状況に柔軟に対応するため、従来の枠組みにとらわれず、まちの構造転換を図ることが行政の責務であり、人と人、人と地域のつながりを大切にした市政運営が重要である。これまでの市民との信頼関係を礎に、新しい時代の力を取り入れながら、安定した市政運営を進めていく。しあわせ共感 安心のまち つるがしまの実現に向け、多くの市民が本市に住んでよかったと実感し、これからも住み続けたいと思える鶴ヶ島を築いていく。



たかはし けんじ
高橋 剣二
議員

